

「永遠の阪神ファン。元関西支部副支部長兼事務局長、久保田さんの熱烈観戦記」
(2024年5月25日 甲子園阪神・巨人戦 3-0で阪神勝利の経緯)

2月9日に阪神タイガースファンクラブ会員の西田さんから、ライト外野席7枚のチケットが取れたとの連絡を受けました。3月9日の社友会関西支部総会にて、参加予定者へチケットは配付されました。(¥2,100/枚)

当日のライト外野席50段は、最高段まであと2段の席にて、観戦にはとてもよい席でした。水野支部長以下、猛虎会7名が着席して、14時にデイゲームの試合が開始しました。五月晴れにて最高気温は25°C程度、上段席は広告看板の加減で日差しが当たらず、快適な応援観戦日和でした。

阪神先発投手は来日2年目で、前週今季初勝利のビーズリーが、圧巻の6回無失点の力投で2勝目。巨人は4連敗中の赤星が先発したが、阪神は2回木浪の適時2塁打で先制し、4回には渡辺の1号ソロで加点して、赤星は降板。5回森下の3点目の適時打で、ほぼ勝負ありの感でした。

ライト外野席はトラキチのファンで埋め尽くされ、選手個人毎の応援歌が合唱されて賑やかなムード。またリードしていたからか、観戦しながらの一杯750円の生ビールは格別に美味しく堪能できました。ただ、コロナ禍前は7回攻撃前に「風船飛ばし」をしていたが、今季も「風船飛ばし」は解禁されていませんでした。

阪神は7回石井・8回岩崎・9回ゲラが、鉄壁の封殺リレーにて、巨人を完封したのは見事。巨人4人目の投手は、昨年まで阪神在籍2年のケラーが登板しました。これで阪神は、今季25勝18敗4分け勝ち越し「7」にて、2位広島に1.5ゲーム差の首位キープです。

当日の入場者数は、42,608人で今季最高でした。祝勝会は4人で阪神今津駅「大阪王将」にて打ち上げいたしました。猛虎会の次回応援は9月の予定です。

(当日猛虎会参加者)

木村(勤)/久保田/小林/富田(修)/水野/山口/葛野<敬称略>